翻 訳 文 献 書 誌

Bibliographies of Translated Literatures

西 岡 正 行・阿 字 川 和 雄*

東京女子医科大学図書館

要 旨

翻訳文献の検索サービスは日本の医学図書館ではあまり普及していないように思われる。書誌ができていないという理由が一つの要素として考えられるが、そこから第二次世界大戦以後の米国、欧州における翻訳文献書誌の変遷を概略した。次いで *Translation Register-Index* と *World Index of Scientific Translations and List of Translations Notified to ETC* を紹介し結論として参考業務の充実のために翻訳文献の検索サービスとそのため書誌の必要性を述べた。

は じ め に

編集委員から依頼を受けたのは翻訳文献書誌についての解説記事であった。諸外国語から日本語あるいは英語への、医学及びその関連領域を対象にした翻訳文献書誌である。さて医学図書館員が文章を書く場合の常套手段として先輩の書いたものを参考にしようと「医学図書館」を調べてみたがこのようなテーマのペーパーはほとんどない。語学の障壁は今に始ったことではないし、翻訳という問題が図書館機能と無関係であったということはあり得ない。わが国の医学図書館には日本語あるいは英語で書かれた文献以外は所蔵されていないというのならともかく、ほとんどの図書館ではその他の言語で書かれたものも収集・所蔵している筈である。それが例えばアラビア語のように minor language の文献資料であったならば、数少ないアラビア語に通じた利用者が使うか、さもないければ利用者自身が翻訳者のところに向いて翻訳してもらいそれを利用するかのどちらかであろう。医学図

書館自身が他館と協力して翻訳文献のコレクションを維持するとか専門の翻訳者のリストを持つ、あるいは翻訳文献書誌によってオリジナルの翻訳を取り寄せるというサービスはまだ普及していないように思われる。せいぜい翻訳機関を紹介するくらいであろう。また医学図書館には必須の二次資料である *Index Medicus, Excerpta Medica* にはいわゆる minor language の文献も掲載されている。件名あるいは分類項目の下には英語文献と同じ扱いで並んでいるのであるから、その中には利用者の求める主題に適う文献も目につく筈である。それが読めないという現実の前に無視されるとすればわが国の医学研究にとって損失である。一方世界的に見て日本語は紛れもなく minor language である。日本で生産された文献が翻訳も含めてどの程度外国の研究者に読まれているか、またわが国の研究レベルがはたして海外で正当に評価されているのだろうかということは今もって新しい問題である。そのような状況にあるわが国では特に minor language や翻訳という問題に関心を示さざるを得ないと思う。今後の図書館のレファレンス・ワークに期待されるところであろう。

Minor language 即ち大多数の図書館利用者にとって、語学の面から解読し得ない文献の利用ということに関して図書館員が関与するには二通り考えられる。まずそのオリジナルを翻訳して利用者に提供する方法である。しかしこのような機能を全ての医学図書館に要求することは暴論のように思われる。そうであれば利用者の読める言語に既に翻訳された文献を提供することである。それには書誌が必要であるが、残念ながら筆者の調べた範囲でわが国には医学領域も含めてそのようなものはなかった。したがって次の段階としては *universal language* として扱われている英語に翻訳されたものを捜すことに

* Masayuki NISHIOKA and Kazuo AJIKAWA: Tokyo Women's Medical College Library

なろう。現在利用しやすい米国、西欧の代表的な翻訳文献書誌を紹介してその責をはたしたいと思う。ただこれは医学を含めたサイエンス全体を収録対象としているものであり、したがって以下の記述は特に医学領域に限ったものではないことを断っておかねばならない。

翻訳文献書誌の変遷

本格的な翻訳、書誌活動は米国で始った。第二次世界大戦中の日・独技術文献を収集・翻訳するために1947年OTS(Office of Technical Service)が設立され、次いで1949年にはConsaltant Bureauの手によって最初のcover to cover 翻訳誌 *Zhurnal Obschei Khimii* (現在の *Journal of General Chemistry of the USSR*) が出版されている。以後、科学技術分野における翻訳活動とその書誌的コントロールの重要性が次第に認識されるようになり、特にソ連の文献に関しては人工衛星が飛ぶ以前から関心は深まっていた。1953年、LC(Library of Congress)のSTC(Science Translation Center)がロシア語翻訳文献の収集を始め、そこから *Bibliography of Translation from Russian Scientific and Technical Literature* (1953-56) が生まれてきた。同じ年にSLA(Special Library Assosiation)はJohn Crerar LibraryにNTC(National Translation Center)を設立しロシア語以外の言語から英語に翻訳された文献を独自に収集開始している。SLAではその数年前から科学技術部門の有志によって収集活動はなされていたが、NTC設立によってその活動が本格的になった。*Author List of Translations* (1953) とその *Supplement* (1954), *Translation Monthly* (1955-58) はその所産である。1959年にOTSはSLAと協力関係に入り、更に英国、ヨーロッパ大陸とも翻訳文献情報に関する相互の協定を結んだ。そこで従来 *Translation Monthly* に代りCFSTI(Clearinghouse for Federal Scientific and Technical Information)から *Technical Translation* (1959-67) が出版されるようになった。これは半月刊で出され米国内外の情報を包括的かつ組織的に集められる体制ができた結果のもので、当時であってもっとも確かな翻訳文献の情報源であった。それには米国政府の援助による翻訳文献、欧州で生産されたもの、大学、研究所、個人さらに商業ベースから翻訳されたものまでを含んでいた。ETC(European Translation Centre)の加盟後は収録文献数の占める欧州、特にソ連と西独の割合が一段と高くなったようである。この *Technical Translation*

は1967年12月で廃刊され1968年以後政府援助による翻訳文献はNTIS(National Technical Information Service, CFSTIの後身)によるUSGRDR; *US Government Research and Development Reports* に掲載されるようになった。それ以外のNTCが受入れた全ての翻訳文献はTR-I, *Translation Register-Index* (後述)に入っている。一方欧州ではOECD(Organization of Economic Cooperation and Development)の援助の下に1960年14か国が参加して前述のETCがオランダのDelftに設立された。これによって欧州諸国の翻訳文献に関する情報網は一つに結ばれ、米国OTSとの協定によって世界の翻訳情報は有機的な組織を確立することになった。ETCは欧州の翻訳文献、書誌のデータの収集、OTSとの資料交換などの活動をしていたが、1967年からは *World Index of Scientific Translation* (後述)の出版を開始した。以上の他に重要な書誌として1969年にSLAが出した *Consolidated Index of Translations into English* がある。これには前述の *Author List of Translations and its Supplement*, *Bibliography of Translations from Russian Scientific and Technical Literature*, *Translation Monthly*, *Technical Translation* に掲載された情報を総括的に含んでいる。その他に英国のBLL(British Library Lending Division)でも1966年以来、あらゆる言語から英語に翻訳された文献のコレクションを維持しているようである。なお1959年から1966年にかけて *Technical Translation* から医学生物学関係の文献のみを引き出して *Bibliography of Medical Translation* が刊行されている。NLMの援助の下に特別に出されたものであるが、その利用と高すぎる経費が引き合わないという理由で1967年には中止されてしまった。この書誌に関しては非常に関心があるが残念ながら現物を手にすることができなかったので詳細は分らない。

Translation Register-Index (TR-I)

発行: National Translation Center (NTC, John Crerar Library, Chicago)

創刊: 1967年

TR-Iを発行しているNTCは世界のあらゆる場所で生産された自然科学、物理、医学、社会科学領域の文献で英語に翻訳されたものについての情報源的機関であり、デポジットとしての役割もはたしているセンターである。NTCは非営利団体で、利用可能な翻訳文献に関する情報の配布、翻訳文献のコピーの提供、他機関への

案内等のサービスを実施しており、また ETC, BLL (英国), National Science Library (カナダ), Commonwealth Scientific and Industrial Organization (オーストラリア)と索引分担の協定を結んでいるために、*TR-I* より得られる情報はほぼ完全なものと言える。ただ、米国政府援助による翻訳文献は前述の通り *USGRDR* に掲載されるので monthly *TR-I* には載らないが semi-annual 累積版には掲載されている。*TR-I* の前身 *Technical Translation* の annual 累積版には載っていた cover to cover 翻訳誌のリストがこれにははずされている。*TR-I* にとっては貴重な機能を失ってしまったものであるが、この情報に関しては Carl J. Himmelsbach と Grace Brociner の共著 *A Guide to Scientific and Technical Journals in Translation*, 2ed. New York, SLA, 1972. によって調べることができる。最新のリストを知りたい場合は次の項で述べる ETC の *World Index of Scientific Translations and List of Translations Notified to ETC*, annual 累積版に掲載されている。*TR-I* の構成は大きく2つの section に分けられる。

Registry section: NTC で受入れた最新情報の告知の役割をはたしておりそのリストは COSATI (Committee on Scientific and Technical Information of the Federal Council on Science and Technology) の主題分類にしたがって配列されている。各々翻訳番号、著者名、論題(英訳のみ)、雑誌名(オリジナル掲載誌)、巻号、頁数、発行年、入手経路の指示、価格等の項目より成り立っており翻訳番号の最後のユニットが COSATI の分類に相当している。

例1 *TR-I* Registry Section

06 Biology and Medicine

06P Physiology

75-11040-06P

Wever R.

PRINCIPLES OF CIRCADIAN RHYTHMS IN MEN, STUDIED BY THE EFFECTS OF A WEAK ALTERNATING ELECTRIC FIELD. *Pflüger's Archiv (für die Gesamte Physiologie des Menschen und der Tiere)* v. 302, p. 97-122, 1968

Order from NTC as 751-1040-06P: HC \$ 17.25

Index section: Journal citation と Patent citation に分かれており、前者は誌名のアルファベット順、後者

は国別で特許ナンバー順に配列されている。この section には Register section と違って NTC のみではなく NTIS その他各機関で収集された情報も全て掲載されている。各項はオリジナル誌名の下に発行年、巻号頁数、翻訳番号、注記より成っている。例1に対応する部分を示す。

例2 *TR-I* Journal Citation Index

Pflüger's Archiv

1943 V246 P693-708 N74-25630 <×=>

1968 V299 P364-370 75-11039-06P <×>

→ 1968 V302 P97-122 75-11040-69P <×>

World Index of Scientific Translations and List of Translations Notified to ETC

発行: European Translation Centre (ETC-Delft, Netherlands)

創刊: 1967年

前述のように ETC は OECD の援助の下に西欧14か国、米国、カナダ、イスラエルの各 National Centre と提携して1960年オランダのデルフトに設立された。ETC 設立の第一の目的は各国の翻訳に関係する National Centre を相互に結び付け情報交換の中心的機能を果たすことにあった。したがってその機能の一環として西欧各国から集ってくる翻訳情報を OTS との協定によって CFSTI に送付、それが *Technical Translation* に収録され、次いで NTC の *Translation Register-Index* (Index section) に引き継がれてゆくわけである。同時に ETC は独自に翻訳文献の収集をはかっており、コレクションを維持していたが、やがて1967年 *World Index of Translations* の発行を開始した。この索引は季刊で刊行され第4号が累積版となっていたが、この末尾に cover to cover 翻訳誌の一覧が掲載されていた。収録されている翻訳文献には米国のものもかなり含まれているが *TR-I* の Register section に掲載される NTC の翻訳文献は載らない。Index section に収録されている NTC 以外の機関の翻訳文献にはかなり重複しているものもある。翻訳言語はほとんど英語であるがドイツ語、フランス語のものもある。

この索引は 1967~1971 (V. 1-5) までは季刊で刊行されていたが 1972 (V. 6) からは同じ ETC より刊行されていた *List of Translations Notified to ETC* を合併し新しく *World Index of Scientific Translations and List of Translations Notified to ETC* の誌名で

月刊で刊行されることになり現在に至っている。索引の構成は新誌名が示す通り and でつながる旧来の索引の性格を残し2部構成となっている。

World Index of Scientific Translations: 東欧, アジア等から ETC が収集した翻訳文献のリストで社会科学領域のものも数多く収録されている。年4回季刊として, 更にその年の最終号が累積版として出される。索引の配列はオリジナル誌名のアルファベット順になっており, また例3に示す文献の参照番号 74070605-322 は 74 (ETC で受入れた年), 07 (月) 605 (COSATI 分類番号) 322 (受入番号) を表わしている。オリジナル誌名の下に発行年, 巻号頁数, 参照番号の記入があるが完全な書誌の事項は次の List に見ることができる。

例3 *World Index of Scientific Translations*

Sovremennaya Meditsina-USSR

→ 1862 3 20 377-80 74070605-322

1862 3 22 417-23 74070605-323

1862 3 23 433-9 74070605-324

1863 3 24 452-8 74070605-325

The List of Translations Notified to ETC: TR-I の Register section に相当する部分で, その月に ETC が受入れた翻訳文献の告知であり, 書誌の事項の完全な記入がある。配列はやはり COSATI の主題分類にしたがっており, 参照番号の下に著者名, 英訳論題 オリジナル言語と翻訳言語の指示, オリジナル誌名, 発行年, 巻号頁数, 翻訳文献の入手経路等の記入がある。例3で指示した文献はこの List では次のようになっている。

例4 *List of Translations Notified to ETC*

0605 Clinical Medicine

74070605-322

Shteinberg, S

A study of the soft white matter which accumulates on and between the teeth.

Translation from Russian into English.

Sovremennaya Meditsina-USSR

1862 V3 N20 p. 377-80

From NIH as 11-25-59

むすびにかえて

逐次刊行物の翻訳・書誌について述べてきたが, ここで書誌そのものから離れて翻訳された文献の現われ方を見ると, 大別して3通り考えられる。単一の論文のみが必要によって翻訳された場合, cover to cover 誌, 選択翻

訳誌で, 最初の場合はいずれかの書誌によって収録されない限り図書館の守備範囲には入って来ないように思われる。次に cover to cover 翻訳誌であるがソ連の雑誌についてみると, 英訳 cover to cover 誌で1970年現在208種刊行されているという報告がある⁵⁾。また, それについて研究の補助的な知識として拾い読みする程度に使われるか, あるいは時間的な経過に耐えられるだけの内容をもっているオリジナルの翻訳についてのみ有効であるという考え方がある⁷⁾。言うまでもなく特定雑誌の全訳誌であるから, 質的な選択を受けることなく掲載論文全てが翻訳される訳であるが, 書誌活動や検索には便利だとしても, 高い費用と時間をかけて質的に低劣なものまでも翻訳する必要があるかどうか疑問である。cover to cover 翻訳誌の弱点を補う形で選択的翻訳誌があるが, これについては医学生物学領域で見遇せない重要な計画があったので簡単に紹介する。1963年から1966年にかけて FASEB (Federation of American Societies for Experimental Biology) は機関誌 *Federation Proceedings* の補遺として *Federation Proceedings Translation Supplement* を計画・刊行している。これは FASEB の会員を対象にした選択的翻訳誌であり, 計画の4年間に24冊, 1,270件の翻訳文献(ソ連の文献が主)を収録している。文献の選択には厳密な客観性をもたせ, 翻訳の質については専門家の批判を受けることによって改善してゆき, その結果 cover to cover 翻訳誌よりも少い費用で, より広範囲なソースから文献を探し翻訳・収録できたという⁸⁾。

翻訳文献を量的側面から見ると, 翻訳活動が本格化した1960年前後には圧倒的に多かったロシア語に代って, 最近ではドイツ語, フランス語の比重が高くなっているという。それに比較して日本語の翻訳は研究者の人口, 研究の世界的レベルに相応しては増えていない。これは重要と判断された論文は英語でも発表されているという理由に拠るようである。

最後に参考業務に必要な二次資料として前述の書誌が有効であることを言わねばならない。しかし *TR-I*, *World Index* を国内で自由に閲覧できるのは国会図書館だけのようである。しかもそこで見つけた文献は多くの場合 NTC, ETC へ直接コピーを申し込まねばならない。こういう事情であれば, 翻訳文献の検索サービスが正当であることを主張できたとしてもすぐに参考業務のルーチンワークには取り入れ難い。これは東大医の場合も全く同様であって, この小論が実地を踏まえたもので

はなく、言わば机上の空論に過ぎないという批判を当然甘受しなければならない。しかしなお、それでも従来から翻訳文献の取り扱いに無関心であったという認識に依然として変りはない。国内での翻訳・書誌活動の実態を調査し何とか参考業務に組み入れてゆく工夫を検討することが今後の課題であろう。

〔注〕“minor language”という用語の取り扱いが不正確だったようです。ここでは他国への普及度の低い言語という意味で使っています。

参 考 文 献

- 1) *Translations Register-Index*. NTC, General Information.
- 2) *World Index of Scientific Translations and List of Translations Notified to ETC*. ETC, Introduction.
- 3) Morton L. T.: *Use of Medical Literature*. London, Butterworths, 1974, pp. 13-33.
- 4) 田中 功: 翻訳雑誌—Selected Translations Journal—「情報管理」15 (5): 365-367, 1972.
- 5) Tybulewicz, A.: Cover to cover translations of Soviet scientific journals. *Aslib Proc.*, 22 (2): 55-62, 1970.
- 6) Knul, C. M. A.: Towards a follow-up care program for *ad hoc* translations. *Aslib Proc.*, 25 (6): 220-226, 1973.
- 7) ソ連英訳誌一覧「ドクメンテーション研究」22 (12): 419-436, 1972.
- 8) Zwemer, R. L.: Selected translations from medical-related science. *Fed. Proc.*, 26 (5): 1293-1302, 1967.
- 9) Bishop, D. et al.: Translation frequency as a guide to the selection of Soviet biomedical serials. *Bull. Med. Libr. Assoc.*, 52: 557-567, 1964.
- 10) 寺村由比子: Translations Register-Index と World Index of Scientific Translations.—新しい技術文献翻訳誌—「科学技術文献サービス」No. 25: 26-27, 1969.
- 11) Bishop, D. et al.: English translations of biomedical journal literature: availability and control. *Bull. Med. Libr. Assoc.*, 61 (1): 24-28, 1973.
- 12) Gould, C. J. et al.: Foreign technical literature: a problem of costs, coverage and comprehension. *Aslib Proc.*, 23 (11): 571-576, 1971.
- 13) 藤田邦子: 医学図書館における翻訳業務「医学図書館」16 (2): 99-101, 1969.
- 14) 河田政雄 他: ソビエト医学書誌について「医学図書館」8 (4): 63-76, 1961.
- 15) Translations in the Uk. *Aslib Proc.*, 25 (7): 264-267, 1973.
- 16) 阿部和子: ソ連圏文献英訳レポートその翻訳機構と資料について「科学技術文献サービス」No. 8: 32-34, 1963.
- 17) Scoot P. H.: Technical translations: meeting the need. *Aslib Proc.*, 23 (2): 89-99, 1971.

(昭和50年11月10日受付)

※

※